令和６年11月７日

日中サービス支援型共同生活援助評価報告通知書(案)

川西市長　　様

川西市障がい者自立支援協議会
会長　　船木　靖夫

日中サービス支援型共同生活援助の評価･報告の提出を受け、評価会にて事業所からの聞き取りを実施し、協議した結果、下記のとおり評価したので通知いたします。

記

1. 事業所名	ホームたきやま
2. 良い点	□　法人として取り組もうとする姿勢がうかがえる。
3. より良くするために取り組んでいただきたい点	□　適切な事業運営に取り組むため、マニュアル作成やシステム化をすすめてください。 □　休日等も施設で過ごされる利用者に対して、日中活動の充実に取り組んでいただきたい。 □　職員の制度理解を深められるよう取り組みを進めてください。 □　急変時などに、医師の判断が仰げるよう、医療の重要性を再考し、連携が取れるように取り組んでください。 □　育成会会員以外の利用ができるような働きかけを進めてください。 □　災害時（火災・天災）に備えた訓練などを通して、地域との繋がりができるよう取り組みを進めてください。 □　利用者の生活を事業所、ご家族だけで支えるのではなく、ほか支援機関や地域、成年後見制度の利用促進など、みんなで支えられる繋がりができるよう取り組んでください。 □　研修実施後に出た意見に対しての検討や取り組みなどを進めてください。
3. 総評	今回２回目の評価となる。前身の共同生活援助から長期間居住されている利用者がほとんどで、慣れた職員もおり関係は築けているように感じる。「日中サービス支援型共同生活援助」に事業変更し１年半ほど経過し、事業の整備は進みつつあるように感じるが、上記2. の各項目を重点的に取り組んでいただきたい。家族会が運営する事業所として、保護者の高齢化に伴い、次世代の育成など検討事項も出てくるかと思うが、外部に目を向け交流を図ることや、外部の目が入ることで生まれる交流から安定した事業運営に繋げて欲しい。 また、「地域連携推進会議」の準備については、令和７年度から会議が設置できるよう令和６年度中に地域の住民団体や専門機関と調整を進めてください。